

患者情報を記入
住所と居住地が異なる場合、当該者所在地に、居住地を記入
入院中の場合は、所在地に医療機関住所を記入
別途、「結核患者入院（退院）届出票」提出

患者が未成年の場合、保護者の情報を記入

結核の種類を記入

結核に関する症状を記入

菌検査や画像検査等結果が判明しているもの（診断の根拠となるもの）を記入
例）塗抹(-)PCR(+)⇒PCR(+)のみ記入

※初診年月日は、結核を疑った際の初診日
※診断日は、結核の届出基準を満たすと診断した日
診断後、直ちに保健所へ連絡する
※感染したと推定される年月日の記入が難しい場合、「不詳」と記入

別記様式 2-2

結 核 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____
 従事する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地(※) _____
 電話番号(※) () () - () () () ()

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検査）した者（死体）の類型 ・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・疑似症患者 ・感染症死亡者の死体 ・感染症死亡疑い者の死体					
2 当該者氏名	3 性別 男・女	4 生年月日 年 月 日	5 診断時の年齢(歳は月齢) 歳 (月)	6 当該者職業	
7 当該者住所			電話 () - () () () () ()		
8 当該者所在地			電話 () - () () () () ()		
9 保護者氏名		10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
		電話 () - () () () () ()			

11 症 状	1) 肺結核 2) その他の結核 ()	18 感染原因・感染経路・感染地域
	・せき ・たん ・発熱 ・胸痛 ・呼吸困難 ・その他 ()	
12 診断方法	・なし	①感染原因・感染経路 (確定・推定)
	・塗抹検査による病原体の検出 検体: 喀痰・その他 () ・分離・同定による病原体の検出 検体: 喀痰・その他 () ・核酸増幅法による病原体遺伝子の検出 検体: 喀痰・その他 () ・病理検査における特異的所見の確認 検体: () 所見: () ・ツベルクリン反応検査 (発赤・硬結・水疱・壊死) ・リンパ球の菌特異蛋白刺激による放出インターフェロング試験 ・画像検査における所見の確認 () ・その他の方法 () 検体 () 結果 () ・臨床決定 ()	1 飛沫核・飛沫感染 (感染源の種類・状況: 2 その他 () ② 感染地域 (確定・推定) 1 日本国内 (都道府県 市区町村) 2 国外 (国 詳細地域)
13 初診年月日 令和 年 月 日		19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項
14 診断（検査）年月日 令和 年 月 日		
15 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日		
16 発病年月日 (*) 令和 年 月 日		
17 死亡年月日 (※) 令和 年 月 日		

(1, 3, 11, 12, 18 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 13から17欄は年齢、年月日を記入すること。
 (※)欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(*)欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
 11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

この届出は診断後直ちに行ってください

報告日は診断日と同日

診断した医師の情報を記入

※症状や診察所見等から結核を疑い、病原体検査や画像検査等の結果に基づき、結核と診断した場合は、疑似症患者ではなく、「患者（確定例）」として届出をする
 ※非結核性抗酸菌症との鑑別がついていない場合も、患者（確定例）で届出をする
 ※潜在性結核感染症の場合は、無症状病原体保有者を選択
 ※結核でないことが判明した場合、管轄保健所へ連絡する

感染源、感染場所等を記入

入院勧告が必要と判断した理由となるものを記入
 ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における結核患者の入退院及び就業制限の取扱いについて（平成19年9月7日健感発第0907001号参照）